



# 浜小だより

茅ヶ崎市立浜須賀小学校

2023年9月29日

10月号

学校教育目標 「未来をひらく浜小の子」～遊ぶ 学ぶ 助け合う～

校長 青柳 和富

## 「メリハリのある生活を」

「今日は、暑さ指数が●●ですので、外で遊べます」との放送に校舎中から歓声が上がります。校庭の目につきやすい場所に設置した暑さ指数計（WBGT測定器）の数値を気にしながら休み時間に外に出ることを待ちこがれる子どもたちにとって、何より嬉しい瞬間です。本校の子どもたちは外で遊ぶことが大好きです。外に出ている子どもをカウントしてみると、昼休みの校庭で300人以上の姿を確認することができました。多くの子どもたちが校庭に集まるので安全上、ボール遊びの日と鬼遊び（ごっこ）の曜日を分けています。鬼遊びは特に人気があり、4年生以上が参加するクラブ活動の一つに、全国でも珍しい「鬼ごっこクラブ」（2021年度創設）があるほどです。また、使用率が高くいつも握り棒がピカピカの鉄棒も本校の自慢です。休み時間の終わりの合図が鳴ると皆一斉に教室に戻ります。このような子どもたちの姿は、まさに本校が学校教育目標として掲げる「遊ぶ＝健康でメリハリのある生活のできる子」そのものではないでしょうか。本校では、少なくとも資料が残っている2006年度より前に、午前中の中休みを30分間に伸ばし（その後25分間に短縮した年もあり）、2022年度からは中休みを20分間、昼休みを30分間という今の形にして子どもたちの活動時間を確保してまいりました（休み時間は20分程度の学校がほとんど）。学校教育目標実現のために計画的に行ってきた取組の成果が、このような子どもたちの姿となって表れていることを大変嬉しく思います。



また、今年は特に暑かったことから、学年斉一の水鉄砲大会やかき氷大会が行われる様子も見られました。登校中に普段と違う荷物を持つ子どもたちに「今日は何するの?」と尋ねたときの子どもたちの嬉しそうな顔……。こうした非日常的な取組を教育活動に織り交ぜながら子どもたちの主体性や協調性を育てていくことも教育の有効なアプローチとなります。

日々、こうしたメリハリのある学校生活を送っている子どもたちですが、早いもので来週末には1年間の振り返りである前期終業式を迎え、全児童に「家庭への知らせ」を配付いたしますので、その内容について触れさせていただきます。学校では、子どもたち一人一人に発達段階に応じた資質・能力を身に付けさせられるよう学習指導を行う中で、教員が自分の指導の在り方を振り返るとともに、子どもたちが学習したことの意義や価値を実感し次の学習へのモチベーションを高められるよう、日々口頭やコメント等での評価を行っているところですが、それらを総括した形で年に2回、学期末に「家庭への知らせ」という形で生活や学習の状況についてお示しさせていただいております。「所見」では、それぞれのお子様のよい点や頑張った点について2～3文程度で、学習については、1年生は2段階の観点別評価（他者との比較であるいわゆる相対評価ではなく「家庭への知らせ」左ページに示した観点の実現状況を示すいわゆる絶対評価）、2年生は3段階の観点別評価、3年生以上は3段階の観点別評価及び評定（観点別評価をA=3、B=2、C=1として数値化し、その合計で算出したもの）でのお知らせとなります。道徳、3～4年生の「外国語活動」、3～6年生の「総合的な学習の時間」については、1年間という括りの中でお子様の具体をお示しできるよう、学年末のみの評価といたします。子どもたちが一つの節目である学期末の評価を一つの糧として新たな目標を持ち、後期の学校生活をよりよいものにしていかれるよう引き続きご家庭と連携を図りながら教育活動の充実に努めてまいりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。